

電動モビリティシステム専門職大学  
教育課程連携協議会議事録

第3回 令和7年3月14日 13:30-15:10

議事：令和6年度教育課程の実施状況について  
令和7年度教育課程の編成について

1. 本学の状況について

小関事務局長から、令和7年度の学生募集停止について説明があり、以下のような質疑応答があった。(○学外委員発言・大学発言)

○学生が集まらないために運営資金が確保できないのか。在学生の人数は何名か。

・学生募集に必要な広報費も限られていて広報活動も難しい状況であった。現在は1年生が1名、2年生が2名の計3名が在学している。

2. 協議内容

学部長から、令和6年度教育課程の実施状況及び令和7年度教育課程の編成について資料に基づき説明があり、概ね以下のような協議を行った。

○今年度行われた臨地実務実習はどうであったか。

・1年生は昨年同様自動車販売店で受け入れていただき、2年生については希望調査を実施し、1名は製造会社、もう1名は開発関連の会社に受け入れていただいた。実習を通して学生が大きく成長した様子が見られた。

○将来の担い手を育てるためにも飯豊町の子供達や地域住民と関わる機会をたくさん作ってほしい。

・飯豊町をはじめ地域住民に対して、自動運転に関する技術や現状・将来などを一般の方にもわかりやすく説明をする機会をつくりたい。その際にご協力願いたい。

○大学を卒業した後の就職先が見えない。授業が特化しすぎているため学生が何をどこまでできるのか等、企業側が困惑する。

・工作機械にプログラムを入力して作業を行うだけでなく、手作業の機械操作による工作、手書きの製図からCADを使用した製図、プログラム言語についても基本を身に付けるような教育を大事にしている。就職については、理論からものづくりまで幅広くしっかりと教育し、学生の個々のキャリアプランに応じて、さまざまな分野で活躍できる学生を育てていきたいと考えている。

学長への報告・意見を踏まえた対応

協議内容は学部長から学長に報告し、委員の皆様の貴重な意見を参考にし、在學生への教育に取り組んでいくこととした。